

令和4年第4回八雲町議会定例会会議録（第3号）

令和4年12月13日

○議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第13号 令和4年度八雲町一般会計補正予算（第9号）
- 日程第 3 議案第14号 令和4年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算
（第3号）
- 日程第 4 航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会調査
報告書
- 日程第 5 発議第 1 号 エサ代高騰等で苦境にある酪農・畜産農家を支援するた
めの意見書
- 日程第 6 発議第 2 号 介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制
度の改善を求める意見書
- 日程第 7 発議第 3 号 知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める
意見書
- 日程第 8 発議第 4 号 旧統一協会の宗教法人解散を求める意見書
- 日程第 9 発議第 5 号 健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化に反対する
意見書
- 日程第10 発議第 6 号 带状疱疹ワクチンへの助成を求める意見書
- 日程第11 発議第 7 号 生活保護基準を戻し、物価高騰に見合う引き上げを求め
る意見書
- 日程第12 議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について

○出席議員（14名）

- | | |
|---------------|-------------|
| 1番 赤井睦美君 | 2番 佐藤智子君 |
| 3番 横田喜世志君 | 4番 大久保建一君 |
| 5番 関口正博君 | 6番 宮本雅晴君 |
| 7番 倉地清子君 | 8番 三澤公雄君 |
| 9番 牧野仁君 | 10番 安藤辰行君 |
| 11番 斎藤實君 | 12番 能登谷正人君 |
| 副議長 13番 黒島竹満君 | 議長 14番 千葉隆君 |

○欠席議員（0名）

○出席説明員

町 長	岩 村 克 詔 君	副 町 長	成 田 耕 治 君
総務課長	竹 内 友 身 君	財務課長	川 崎 芳 則 君
併選挙管理委員会事務局長		建設課長	藤 田 好 彦 君
会計管理者	阿 部 雄 一 君	兼公園緑地推進室長	佐 藤 英 彦 君
兼会計課長	戸 田 淳 君	環境水道課長	井 口 貴 光 君
保健福祉課長	田 村 春 夫 君	商工観光労政課長	田 村 敏 哉 君
水産課長	佐 藤 尚 君	兼サーモン推進室参事	三 坂 亮 司 君
兼サーモン推進室参事	土 井 寿 彦 君	サーモン推進室長	
落部支所長		学校教育課長	
教育長		学校給食センター長	
		社会教育課長	
		兼図書館長	
体育課長	伊 藤 勝 君	郷土資料館長	佐 藤 真 理 子 君
		町史編さん室長	
監査委員	千 田 浩 文 君		
総合病院事務長	竹 内 伸 大 君	総合病院庶務課長	長 谷 川 信 義 君
総合病院医事課長	加 藤 貴 久 君	総合病院地域医療連携課長	佐 々 木 裕 一 君
		兼総合病院庶務課参事	
消 防 長	大 淵 聡 君	八雲消防署長	堤 口 信 君
八雲消防署庶務課長	今 村 幸 一 君	八雲消防署予防課長	中 野 智 君

【熊石総合支所・熊石教育事務所・熊石消防署・熊石国保病院】

熊石総合支所長			
兼地域振興課長	野 口 義 人 君	地域振興課参事	小 笠 原 一 信 君
併熊石教育事務所長			
住民サービス課長	北 川 正 敏 君	産 業 課 長	吉 田 一 久 君
熊石消防署長	藤 村 勉 君	兼サーモン推進室参事	福 原 光 一 君
		熊石国保病院事務長	

○出席事務局職員

事務局長	三 澤 聡 君	併議会事務局次長	成 田 真 介 君
併監査委員事務局長		監査委員事務局次長	
庶務係長	菊 地 歩 夢 君		
併監査委員事務局監査係			

[開議 午前10時00分]

◎ 開議宣告

○議長(千葉 隆君) ただいまの出席議員は14名です。

よって、定足数に達しておりますので、本日の会議は成立しました。直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(千葉 隆君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員に赤井睦美さんと三澤公雄君を指名いたします。

◎ 諸般の報告

○議長(千葉 隆君) これより局長より諸般の報告をさせます。

○議会事務局長(三澤 聡君) ご報告いたします。

本日の会議に、町長より議案2件が追加提出されております。

また、航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会より調査報告書、議員発議によります意見書案7件、議会運営委員会から閉会中の継続調査申出書が提出されております。以上でございます。

◎ 日程第2 議案第13号

○議長(千葉 隆君) 日程第2、議案第13号 令和4年度八雲町一般会計補正予算第9号を議題といたします。提出者の説明を求めます。

○財務課長(川崎芳則君) 議長、財務課長。

○議長(千葉 隆君) 財務課長。

○財務課長(川崎芳則君) 議案第13号、令和4年度八雲町一般会計補正予算第9号についてご説明いたします。

追加議案書1ページをお願いいたします。このたびの補正は、歳入歳出予算の補正であります。

歳入歳出予算の補正は、歳入歳出それぞれに127万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を170億2,933万1千円にしようとするものであります。

それでは、事項別明細書により歳出からご説明いたします。議案書5ページ下段をお願いいたします。

3款民生費、1項社会福祉費、3目高齢者福祉費127万2千円の追加は、介護保険事業特別会計繰出金であります。

熊石デイサービスセンター運営事業については、熊石敬愛会へ委託し、温泉を利用した入浴サービス事業を行っておりますが、今般、平田内泉源の温泉供給量が低下し、冬期間

での温泉を活用した入浴サービス事業の実施が困難な状況を踏まえ、熱源を確保するため、ボイラーによる給湯切り替えに伴う予算について、追加しようとするもので、詳細については、当特別会計の補正予算議案により、ご説明いたします。

以上、補正する歳出の合計は、127万2千円の追加であります。

続いて歳入でございます。同じく議案書5ページ上段をお願いいたします。

11款1項1目地方交付税127万2千円の追加は、普通交付税で、歳出に対応した計上であり、補正する歳入の合計は、歳出と同額の127万2千円の追加であります。

以上で、議案第13号、令和4年度八雲町一般会計補正予算第9号の説明といたします。よろしくをお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎ 日程第3 議案第14号

○議長（千葉 隆君） 日程第3、議案第14号 令和4年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算第3号を議題といたします。提出者の説明を求めます。

○住民サービス課長（北川正敏君） 議長、住民サービス課長。

○議長（千葉 隆君） 住民サービス課長。

○住民サービス課長（北川正敏君） 議案第14号、令和4年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算第3号についてご説明いたします。

議案書7ページをご覧ください。このたびの補正は、熊石デイサービスセンター運営事業委託料に関する補正で、介護保険事業特別会計サービス事業勘定歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ127万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億121万2千円にしようとするものであります。

それでは、事項別明細書により歳出からご説明いたします。議案書の11ページをお願いいたします。

1款サービス事業費、2項地域密着型サービス事業費、1目地域密着型サービス等事業費127万2千円の追加は、熊石デイサービスセンター運営事業委託料の追加であります。

先ほど、議決をいただきました議案第13号一般会計補正予算の提案説明にもありましたが、熊石デイサービスセンターの運営については、熊石敬愛会へ委託し、温泉を利用した入浴サービス事業を行っております。

今般、平田内泉源13号井戸内部に地下水が流入したとみられる著しい温度低下による坑井障害の発生により、温泉の汲み上げを停止することで、全体の温泉供給量が低下するため、冬季間のデイサービスセンターへの温泉供給が停止することから、温泉を活用した入浴サービス事業の実施が困難な状況となります。

このことから、浴槽への温泉利用をボイラーによる給湯に切り替え、入浴サービスを提供することとし、当初予算に計上の委託料において、必要な経費を計上するもので、内訳としては、月額それぞれ水道使用料で2万5千円、下水道使用料で3万7千円、燃料費では25万6千円と見込み、令和5年3月までの4か月分合計で、127万2千円の委託料を追加しようとするものです。以上、補正する歳出の合計は、127万2千円の追加であります。

続いて歳入であります。同じく議案書11ページ上段をお願いいたします。

2款繰入金、2項他会計繰入金、1目一般会計繰入金127万2千円の追加は、歳出に対応した計上であり、補正する歳入の合計は、歳出と同額の127万2千円の追加であります。

以上で、議案第14号、令和4年度八雲町介護保険事業特別会計補正予算第3号の説明といたします。よろしくをお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎ 日程第4 航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び 周辺整備事業推進特別委員会調査報告書

○議長（千葉 隆君） 日程第4、航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会調査報告書を議題といたします。

本件につきましては、令和4年6月9日、第2回定例会において特別委員会が設置され、調査が終了するまで、閉会中の継続調査の付託がされていたものでありますが、このほど調査が終了し、報告がなされたものであります。報告書は、それぞれのお手元に配布のと

おりであります。

委員長から発言を求められておりますので、これを許します。

○委員長（黒島竹満君） 議長、黒島。

○議長（千葉 隆君） 黒島委員長。

○委員長（黒島竹満君） 航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会における調査の経過と結果について、ご報告させていただきます。

まず、当委員会の活動方針は、基地が所在する町として、町民と基地との調和をより一層推進するため、町と議会が一体となり取り組むこととしましたが、新型コロナウイルス感染症が全国的に流行している状況も鑑みて、感染防止の観点を踏まえた、調査及び要望活動をおこなってきております。

また、八雲分屯基地司令を訪問し、特別委員会設置の思いとその趣旨について理解をいただき、要望事案の検討に着手しております。

会議では、関係課職員出席のもと、要望事項の検討をおこない、大きく2点について、とりまとめております。

1点は、飛行場機能や拠点機能の整備充実、地産地消の推進協力の基地有効活用に関すること。

もう1点は、消防自動車の整備、道路改良工事など、基地周辺整備事業の事業採択に関することでございます。

これらについては、八雲分屯基地司令の助言をいただき、内容の最終調整をおこなったのち、防衛省などの関係機関へ要望書の提出をおこなっております。

つきましては、基地のある町として周辺住民の十分な理解と協力を得ることは勿論のこと、関係機関や地元自衛隊関係団体との協調を図り、継続した要望活動が必要であるということを申し添え、委員長報告といたします。

○議長（千葉 隆君） 委員長報告に対しまして、これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 討論なしと認めます。

お諮りいたします。航空自衛隊八雲分屯基地有効活用及び周辺整備事業推進特別委員会調査報告書については、これをもって報告済みとすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） ご異議なしと認めます。

よって、特別委員会報告書については、これをもって報告済みといたします。

◎ 日程第5 発議第1号

○議長（千葉 隆君） 日程第5、発議第1号 エサ代高騰等で苦境にある酪農・畜産農家を支援するための意見書を議題といたします。提出者代表の説明を求めます。

○2番（佐藤智子君） 議長、佐藤。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 発議第1号、エサ代高騰等で苦境にある酪農・畜産農家を支援するための意見書案について提案説明を行います。

昨今の物価高騰により、国民全体の家計が厳しさを増しています。こうした中、一次産業、とりわけ酪農・畜産農家はエサ代高騰や仔牛の価格下落等で経営が危ぶまれる事業体も出かねない状況であります。

実際、道東では経営圧迫に耐えられず、自ら命を絶った酪農家があります。借金を抱えながら、牛の生育に注力している酪農・畜産農家の従事者を支える施策は緊急を要します。支援の手を差し伸べるよう以下、要望します。

記、1 畜産クラスター等、融資返済の期限を延長すること。2 利子補給のための財源を用意すること。3 エサや資材購入に補助金を支給すること。4 畜産経営を継続するための施策を講ずること。5 仔牛の価格安定を支えること。

以上、議員各位のご賛同を、よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） ご異議なしと認めます。

よって、本案を原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎ 日程第6 発議第2号

○議長（千葉 隆君） 日程第6、発議第2号 介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度の改善を求める意見書を議題といたします。提出者代表の説明を求めます。

○3番（横田喜世志君） 議長、横田。

○議長（千葉 隆君） 横田君。

○3番（横田喜世志君） 発議第2号、介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度の改善を求める意見書について、提出者を代表し提案説明いたします。

政府は、2023年通常国会に向けて介護保険見直しの検討を進めています。利用料2割・3割負担の対象者拡大、要介護1、2のサービス削減、ケアプラン作成への自己負担導入、補助杖などの福祉用具の貸与から購入への変更など、負担増と給付削減の提案が目白押しであり、利用者と事業者双方にさらなる矛盾、困難を押し付けるものであります。

利用者、介護事業所・従事者が直面している困難の早急な打開と、介護保険制度の立て直しが急務であります。経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度への転換を強く求めるものであります。

議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議あり」という声あり）

○議長（千葉 隆君） ご異議がありますので、本案は起立によって採決いたします。本案を原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

「賛成者起立」

○議長（千葉 隆君） 起立少数であります。

よって、本案は否決されました。

◎ 日程第7 発議第3号

○議長（千葉 隆君） 日程第7、発議第3号 知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書を議題といたします。提出者代表の説明を求めます。

○6番（宮本雅晴君） 議長、宮本。

○議長（千葉 隆君） 宮本君。

○6番（宮本雅晴君） 知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書について、求めます。

身体障がい者は「身体障害者福祉法」で定義され、精神障がい者は「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」で定義されている。ところが、知的障がい者に関しては、「知的障害者福祉法」で知的障がい者に対する福祉サービスは規定されているものの、知的障がい、あるいは知的障がい者の定義は規定されていない。

よって政府に対して、国際的な知的障がいの定義や、自治体の負担等も踏まえた判定方法や基準の在り方の検討を踏まえ、知的障がい行政・手帳制度を、国の法律による全国共

通の施策として展開することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。議員各位の皆様におかれましては、よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎ 日程第8 発議第4号

○議長（千葉 隆君） 日程第8、発議第4号 旧統一協会の宗教法人解散を求める意見書を議題といたします。提出者代表の説明を求めます。

○2番（佐藤智子君） 議長、佐藤。

○議長（千葉 隆君） 佐藤さん。

○2番（佐藤智子君） 発議第4号、旧統一協会の宗教法人解散を求める意見書について、提出者を代表して提案説明を行います。

旧統一協会（世界平和統一家庭連合）による組織的な支援の見返りに、政府・自民党が旧統一協会側に便宜を図った疑惑が次々と明るみに出てきております。

旧統一協会は霊感商法や多額の献金、集団結婚で、家庭崩壊や人権侵害などの深刻な被害を生み出している反社会的カルト集団であります。

よって、旧統一協会に対して質問権を行使するだけでなく、税制優遇をとまなう宗教法人格を取り消す解散命令請求を行うことを強く求めます。

記、1 早急に旧統一協会の宗教法人の解散命令請求を行い、被害の予防・救済のための制度整備を行うこと。2 旧統一協会と政治の癒着を断つため、安倍元首相や自民党の国会・地方議員、政務三役との関係、行政を歪めた疑惑の実態を解明し、抜本的対策をとること。

以上議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(「なし」という声あり)

○議長(千葉 隆君) 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議あり」という声あり)

○議長(千葉 隆君) ご異議がありますので、本案は起立によって採決いたします。本案を原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

「賛成者起立」

○議長(千葉 隆君) 起立少数であります。

よって、本案は否決されました。

◎ 日程第9 発議第5号

○議長(千葉 隆君) 日程第9、発議第5号 健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化に反対する意見書を議題といたします。提出者代表の説明を求めます。

○3番(横田喜世志君) 議長、横田。

○議長(千葉 隆君) 横田君。

○3番(横田喜世志君) 発議第5号、健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化に反対する意見書について、提案説明いたします。

いまの日本は賃金が上がらず、年金は削減され、物価高騰で国民は苦しんでいます。新型コロナウイルス第8波も心配される中、政府が「スピード感」を持って、突然打ち出してきたのが現在の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードと保険証を一体化する方針であります。

まともな個人情報保護の仕組みや法律をつくらず、マイナンバーカードに銀行預金など個人の全財産をヒモ付けするなど、個人情報をできるだけ集め、管理・利用したい政府や財界の思惑が透けて見えています。

情報流出を止めることができず、プライバシーを脅かす恐れのある健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化に反対し、中止を強く求める内容でございます。よろしく願いいたします。

○議長(千葉 隆君) 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

(「なし」という声あり)

○議長(千葉 隆君) 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(「なし」という声あり)

○議長(千葉 隆君) 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。お諮りいたします。本案を原案のとおり可決

することに異議ございませんか。

(「異議あり」という声あり)

○議長(千葉 隆君) ご異議がありますので、本案は起立によって採決いたします。本案を原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

「賛成者起立」

○議長(千葉 隆君) 起立少数であります。

よって、本案は否決されました。

◎ 日程第 10 発議第 6 号

○議長(千葉 隆君) 日程第 10、発議第 6 号 带状疱疹ワクチンへの助成を求める意見書を議題といたします。提出者代表の説明を求めます。

○6 番(宮本雅晴君) 議長、宮本。

○議長(千葉 隆君) 宮本君。

○6 番(宮本雅晴君) 带状疱疹ワクチンへの助成を求める意見書について。

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下による、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再熟し発症するものである。

そこで政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。

○議長(千葉 隆君) 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

○8 番(三澤公雄君) 議長、三澤。

○議長(千葉 隆君) 三澤君。

○8 番(三澤公雄君) 読み上げた文書が違うのかなと、定期接種じゃないことで多くの議員の了解を得ていると思って、机上配布されているものには定期接種の言葉が抜けているはずですけども。

○6 番(宮本雅晴君) 議長、宮本。

○議長(千葉 隆君) 宮本君。

○6 番(宮本雅晴君) すみません、訂正いたします。

先ほど大久保議員から言われたとおり定期接種を求めるという部分を意見書で清書した段階で助成を求める意見書に変更になっておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長(千葉 隆君) 大久保君じゃなくて、三澤君からということも訂正することによってよろしいですか。

○6 番(宮本雅晴君) はい。

○議長(千葉 隆君) ということで、訂正をお願いいたします。

ほかに質疑ございませんか。

(「なし」という声あり)

○議長(千葉 隆君) 質疑終結と認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(「なし」という声あり)

○議長(千葉 隆君) 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○議長(千葉 隆君) ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決することに決定いたしました。

◎ 日程第 11 発議第 7 号

○議長(千葉 隆君) 日程第 11、発議第 7 号 生活保護基準を戻し、物価高騰に見合う引き上げを求める意見書を議題といたします。提出者代表の説明を求めます。

○2番(佐藤智子君) 議長、佐藤。

○議長(千葉 隆君) 佐藤さん。

○2番(佐藤智子君) 発議第 7 号、生活保護基準を戻し、物価高騰に見合う引き上げを求める意見書について提出者を代表して提案説明を行います。

物価高騰が国民全体を直撃しており、昨年比較で消費者物価指数全体では3%の上昇ですが、生活必需品や食料品等の上昇は遥かに大きくなっております。さらに円安が続くと、家計は今年度に1世帯当たり8.6万円の負担増になるとの試算もあります。生活保護利用者にとっては1か月分の生活保護費に匹敵する大きな負担であります。

生活保護基準は、他制度の土台となっているため、多くの国民にも影響を及ぼします。ただちに生活保護基準を大幅に引き上げることを強く要望いたします。

記1大阪・熊本・横浜地裁判決を踏まえ、生活保護基準減額処分を取り消し、2012年時点に戻すこと。さらに、物価高騰から生活保護利用者の暮らしを守るために、大幅な保護基準の引き上げを行うこと。

以上、議員各位のご賛同をよろしくお願いいたします。

○議長(千葉 隆君) 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑ございませんか。

(「なし」という声あり)

○議長(千葉 隆君) 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(「なし」という声あり)

○議長(千葉 隆君) 討論なしと認めます。

これよりただちに本案を採決いたします。お諮りいたします。本案を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議あり」という声あり)

○議長(千葉 隆君) ご異議がありますので、本案は起立によって採決いたします。本案を原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

「賛成者起立」

○議長(千葉 隆君) 起立少数であります。

よって、本案は否決されました。

◎ 日程第12 議会運営委員会の閉会中の継続調査申出について

○議長(千葉 隆君) 日程第12、議会運営委員会の、閉会中の継続調査申出についてを議題といたします。

ご報告いたします。議会運営委員会委員長から、所管事務のうち、会議規則第73条の規定により、特定調査事項について、閉会中の継続調査を行いたい旨の、申出書が提出されております。申出書は、お手元に配付のとおりであります。

お諮りいたします。議会運営委員会委員長から申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

ご異議なしと認めます。よって、そのように決定されました。

◎ 町長挨拶

○議長(千葉 隆君) 町長から、発言を求められておりますので、これを許します。

○町長(岩村克詔君) 議長、町長。

○議長(千葉 隆君) 町長。

○町長(岩村克詔君) 本年、最終の議会となりました第4回定例会を終了するにあたり、お許しをいただきましたので、お礼のご挨拶をさせていただきたいと存じます。

先ずもって、斎藤實議員におかれましては、35年余の永きにわたり、地方自治行政に貢献した功績が認められ、この度、総務大臣より感謝状が贈呈されましたことに、心よりお祝い申し上げます。

本定例会にご提案申し上げました各議案につきましては、議員各位の温かいご理解のもと、原案どおり可決いただき感謝申し上げますとともに、一般質問及び議案審議を通じて、議員各位からいただきました多くのご意見、ご提言を真摯に受け止め、町政執行に生かしてまいります。

今年も残すところ、本日を含め19日余りとなり、早いもので町政3期目となる1年次目が終了しました。町政をあずかって以来、地域の活性化、とりわけ基幹産業の振興が何よりも重要であるとの考えから、後継者の育成をはじめとする「持続可能な八雲町、明るく未来ある八雲町を築き上げることを目指し、精力的に町政を推進してまいりました。

今、過ぎようとする令和4年を振り返りますと、国内で初めての新型コロナウイルス感染症患者が確認されてから、2年11ヶ月余りが経過いたしました。現在、第8波を向か

え、北海道では感染者数が高い水準で推移しております。政府は、経済の冷え込みを懸念し、緊急事態宣言などの対策は打つことができず、感染対策は厳しい局面にあり、終息には時間がかかるものと思います。一時は、地域経済も活気を取り戻しつつありましたが、昨今の原油価格の上昇や円安、ロシアによるウクライナ侵攻の影響などで、燃料や食料品が高騰するなど、感染対策や経済対策に追われた1年でありました。

そんな中であって、8月に「第2次岸田改造内閣」が発足しましたが、7月に起きた「安倍元総理銃撃事件」に端を発して、政治家と旧統一教会との関係や国葬の是非、10月下旬から相次ぐ大臣の更迭で、岸田内閣の任命責任が問われるなど内閣支持率も低下しています。この間、新型コロナ対策に加え、経済政策のための補正予算が生まれ、7月には「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援」として、児童手当受給者などへ児童1人当たり一律5万円の給付、さらに、11月には「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援」として、住民税非課税世帯などへの1世帯当たり5万円の給付などの経済対策が行われています。

明るい話題としては、前代未聞のリアル二刀流の活躍でアメリカ大リーグ、ア・リーグ最優秀選手には選出されませんでした。日本のみならずアメリカの野球界を席卷した大谷翔平選手の大活躍、また、日本ハムファイターズでは新庄監督が就任、キツネダンスが流行語大賞トップ10に入るなど、チームは最下位となりましたが、とても話題性のあった一年であったように思います。また、サッカーワールドカップで2大会続けて決勝トーナメントへ進出、残念ながらクロアチアにPK戦で惜敗しましたが日本代表の活躍が上げられます。

昨年に引き続いての大谷選手の大活躍、サッカーワールドカップでの日本代表の健闘には、日本代表とサポーターが一体となり、最後まで諦めずに戦う姿に感動し、新型コロナに疲れ、閉塞感が生まれていた社会にどれだけ勇気と希望を与えてくれたものか計り知れません。

次に、町政の状況について申し上げますが、主要施策を絞り、お話しさせていただきます。

まず、昨今の燃料費や食料品等の価格高騰による家計負担増を軽減するため、町単独事業として第3回定例会の補正予算にてご承認をいただきました「冬期福祉手当」給付額を1世帯あたり5千円から1万円に引上げさせていただきました。また、経済対策では、自治体向けの地方創生臨時交付金に上乘せし、11月には本年2度目となる「やくも生活応援券」を1人につき1万5千円を発券、さらには、コロナ禍で打撃を受けた町内事業者への支援策として、融資の利子補給などを行っています。

今後も引き続き、皆さんが安心して健やかに暮らしていくための福祉・経済施策の充実に努めてまいります。

令和元年12月から実施しています北海道初となる「トラウトサーモン海面養殖試験事業」は3年目を迎え、良好な試験結果となっており、本年から、「サーモン推進室」を立ち上げる中、本格事業化へ向け、道総研さけます・内水面水産試験場道南支場の譲渡を受け、稚

魚育成に取り組み、約2万尾を生産しました。これと並行して、「北海道二海サーモン」の商標登録を終え、ブランド化と生産から販売までの体制構築について取り組んでいるところであります。成果として、ふるさと納税の返礼品としての活用、大手回転すしのサーモンフェアや有名ホテルとのコラボによるメニュー開発などで、メディアの関心度も非常に高く、今後、日本海沿岸の各地域はもとより道南全域に渡る漁業の活性化が図られることに期待が膨らんでいます。

本年、自然エネルギーの導入、脱炭素社会の実現に向け「ゼロカーボンシティ八雲」を宣言し、再生可能エネルギー導入ビジョンに基づく事業として、熊石地域平田内川での北海道初の官民共同となる小水力発電事業や桜野地区における地熱発電事業に取り組んでいます。さらには、豊かな森林づくりのため「グリーンカーボン」や藻場の保全及び再生のため熊石地域でホソメコンブの養殖試験を実施するなど「ブルーカーボン」の推進に取り組んでまいります。

さらに、令和6年3月に「北海道木彫り熊発祥の地」として、100周年を迎えます。ここ数年におけるSNSや雑誌、メディアに取り上げられ、その価値や魅力が再発見され、特に、若い年代からも注目されています。10月には資料館の来館者数が道内外、外国からも押し寄せ1千人を超える状況となっています。

さらに、大手セレクトショップの「ビームス・ジャパン」と連携し、木彫り熊をモチーフとしたグッズを開発、インターネット等により販売されており、幅広い層から人気を博しています。今後は、100周年記念事業に向け、イベントなどを企画してまいります。

地域で安心して暮らすためには、医療の充実が欠かせません。八雲総合病院は、北渡島・桧山圏域の地域センター病院として、さらには新型コロナウイルス感染症重点病院として、町民はもとより近隣地域からも信頼される医療機関として、しっかりと役割を果たし、引き続き、常勤医師確保と経営改善に努めてまいりたいと考えております。

建物の老朽化が進む熊石国保病院の建替事業について、19床以下の診療所化検討に言及後、将来にわたって地域の医療を確保していけるよう具体的な保有病床数や施設規模など、最終的な方向性を再検討した結果、将来的な人口減などを踏まえ稼働病床数を30床、建替え場所は特別養護老人ホームの隣の町有地とすることで決定し、現在、基本設計業務に着手し、開院を令和7年5月として進めているところであります。この間、熊石地域の皆様にご心配をお掛けしたことに心からお詫び申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れやワクチン接種に、日々最前線で対応していただいております、両病院の医療スタッフの皆様、心より感謝申し上げますと存じます。

しかしながら、12歳以上が対象となる「オミクロン株対応ワクチン」の接種率は、11月末現在で約20%と低く、早期接種に向け取り組みを推進するとともに、小児用及び初回接種者に対する従来型ワクチンの接種も引き続き対応してまいります。

八雲町の財政の主要な財源である「ふるさと応援寄附金奨励事業」は、町内事業者のご努力とご協力をいただき、昨年度は25億円の寄付を頂いたところでありますが、今年度の出だしとしては、人気の海産物の品不足や価格高騰などにより昨年度実績を大きく下回っ

ておりましたが、年末にかけ人気の海産物が確保され、新たな返礼品が出されるなど、本日現在、10億円になっております。年末までに盛り返し、年度内には目標額としている20億円を確保したいと考えております。

また、国の事業認定を受けて取り組んでおります「企業版ふるさと納税」は、本日現在、27企業から寄付をいただいておりますが、年内に大口の寄付が予定されており、昨年度を大きく上回る状況であります。

どちらのふるさと納税制度による寄付も、八雲町を応援していただける個人・企業の温かいご支援であり、まちづくりを進めるにあたって貴重な財源でありますので、今後においても知恵と工夫を凝らした事業の展開に取り組んでまいりたいと存じます。

いずれにしましても、八雲町を愛する気持ちは誰にも負けない、そんな強い思いで1年間、全国を奔走する中、様々な取り組みにチャレンジしてまいりました。

今後の政策決定にあたりましては、社会経済の動向を注視し、柔軟にして大胆な発想を堅持しつつ、議会の皆様のご意見を尊重しながら進めてまいりたいと存じます。

在任期間の町政を考えますと、新庁舎移転や北海道新幹線新八雲駅周辺整備の具体的な方向性など、まさに多事多難な環境の中での町政運営となることは覚悟しております。

今後とも、町民皆様の幸せと八雲町の限りない発展のため、職員共々全力を尽くしてまいりたいと存じますので、重ねてご支援、ご協力をお願いいたします。

この1年間、議員各位には、大変ご高配を賜りました。どうぞ議員各位におかれましては、健康には十分ご留意され、ご家族共々良いお年を迎えられ、くる年もまた、八雲町のため、ご活躍くださいますよう、そして、変わらぬご支援をお願い申し上げ、ご挨拶いたします。この1年間、本当にありがとうございました。

◎ 議長挨拶

○議長（千葉 隆君） この際、私からも、閉会にあたりまして、ひと言、ご挨拶を申し上げます。

本年も、年の瀬が迫ってまいりましたが、特に緊急の案件がない限り、本定例会が、本年最後の議会となります。

この1年を振り返りますと、多くの台風や豪雨、地震などが発生し、それに伴う災害も多い年でありました。

災害により犠牲となられた方々のご冥福を深くお祈り申し上げますとともに、被災された方々に対しましては、心からお見舞いを申し上げます。

八雲町においても、8月の大雨では、遊楽部川が増水し、洪水の恐れから、近隣地域に避難指示が発令され、100人を超える町民が、避難されました。幸い、人的被害がなかったことは、町民皆様の防災意識の表れと感じております。

私ども議会においては、効果的でわかりやすい議会の運営と、町民の意思を反映した、開かれた議会を目指し、議会報告会や一般会議の開催、さらには常任委員会から町長に対して意見書を提出するなどの活動を行ってまいりましたが、今一度、原点に立ち返り、自

己研さんを重ね、資質の向上を図りながら議会活動を進め、住みよいまちづくりに向け、議員 14 名で努力してまいり所存でございます。

さて、本定例会は、去る 12 月 8 日に開会し、本日までの会期 6 日間にわたり、条例改正、各会計補正予算、議員発議による意見書など、多くの議案が上程され、終始熱心にご審議を賜りまして、無事、閉会の運びとなりましたことに対しまして、厚くお礼申し上げます。

改めて、議員各位並びに町理事者各位のご協力に対しまして、議長として衷心より感謝申し上げます。

町長はじめ、町理事者各位の、これまでの議会審議における真摯なる態度に、深く敬意を表しますとともに、議員各位から述べられました意見、提言等につきましても、十分に尊重され、令和 5 年度以降の政策や予算編成において熟慮していただき、持続可能な行政運営のために、一層の熱意とご努力を重ねていただきますよう、お願い申し上げます。

特に、第 3 回定例会での決算特別委員会委員長の補足説明でも述べられておりましたが、事業実施にあたっては、今後、大型事業も予定されており、公債費の償還が、今後の財政運営の支障とならないためにも、総合計画実施計画に基づき、計画的に事業を実施するよう、重ねてお願い申し上げます。

今年も残すところ、あとわずかとなりました。この一年間、町議会に寄せられました関係各位のご厚情、ご協力に対しまして、深く感謝申し上げますとともに、議員並びに町理事者をはじめとする職員皆様におかれましては、健康に十分ご留意いただき、明るい新年をお迎えになられますよう、ご祈念申し上げます。

報道関係者におかれましては、議会活動を迅速、的確に報道され、町政の推進に側面からご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

終わりになりますが、今後も八雲町発展のために、一層のご尽力を賜りますようお願いを申し上げ、令和 4 年第 4 回定例会閉会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。

◎ 閉会宣告

○議長（千葉 隆君） これをもちまして、本定例会に付議された案件は、すべて議了いたしました。よって、令和 4 年第 4 回八雲町議会定例会を閉会いたします。

〔閉会 午前 10 時 55 分〕